

## 当社におけるアスベスト使用状況等について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、今般、当社グループにおけるアスベストに関する調査を実施いたしましたので、現在までの状況をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 調査概要

当社は、グループ18社の製造設備・建築物を対象にアスベスト含有製品の使用状況、製造・取り扱い作業状況、グループ従業員の健康被害およびグループ事業所周辺の皆様からの健康被害に対する申し出状況について調査を実施いたしました。

#### 2. 調査結果について

##### (1)健康被害状況

当社グループ従業員および元従業員に関しては、アスベストに起因する労災認定事例はありませんが、これまでに2名の従業員が中皮腫で亡くなっていることが判明し、現在アスベストとの関連性について調査中です。

また、現在まで当社グループ事業所周辺の皆様からの健康被害の申し出はありません。

##### (2)製造設備・建築物におけるアスベスト使用状況について

アスベスト含有成型品の使用状況につきましては、下記のとおりですが、これらは規制にもとづき使用が認められているものや、現時点では規制外のものであり、いずれも飛散性のない製品であることが確認されました。

また、製造設備・建築物における吹付けアスベストの使用状況については、設計図面からの確認や目視を通じての結果を踏まえて、今後、詳細な調査・対策を取り進めてまいります。

施設名	アスベスト含有製品	備考
製造設備	配管・装置・タンクの保温材、パッキン、ガスケット	パッキン、ガスケットは、使用禁止除外品
建築物	ボード、スレート等	—

##### (3)アスベスト含有製品の製造・販売について

当社グループでは、昭和35年頃まで旧日本石油株式会社新潟製油所(現新日本石油加工株式会社新潟工場)で、昭和54年頃まで新日本石油加工株式会社東京工場で※アスベストグリース(アスベスト含有量0.9%)を製造・販売し、現時点の調査では、その総量が昭和36年~54年の間、86トンであったことが判明いたしております。

なお、アスベストグリースは、特定化学物質等障害予防規則に定める石綿製品(アスベスト含有量5%以上)には該当いたしません。また、アスベストグリースの製造作業は、昭和50年以降、昭和54年頃までの記録では、年間2~5回の頻度であり、常時実施されていたものではないことから、特定化学物質等障害予防規則に定める特殊健康診断が必要な作業には該当いたしません。

#### 3. 今後の対応について

当社は、今後も継続してアスベストに関する健康被害状況と製造設備および建築物におけるアスベスト含有製品の使用状況の把握に努めるとともに、現在アスベスト含有製品が使用されている箇所については、法令等に基づき飛散防止に関する処置を実施のうえ、計画的に抜本的な対策を講じてまいります。

また、従業員、元従業員およびその家族で健康診断を希望される方に対し、健康診断を実施いたします。

#### 4. お問い合わせ窓口

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	電話番号
一般のお客様からのご質問	お客様相談室 アスベスト専用フリーダイヤル	0120-880-385 受付時間 日・祝日を除く 9時00分~17時30分

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	電話番号
ニュースリリースの内容	広報部 広報グループ	03-3502-1124
元従業員の方の健康診断	人事部 人事グループ	03-3502-1141

以上

※ アスベストグリースとは

- (1) 品名 1号アスベストグリース
- (2) 特性 濃褐色、ブロック状、耐熱、耐漏洩性良好
- (3) 用途 高荷重、高温でクリアランスの大きいすべり軸受用
- (4) 処方アスベスト含有量 0.9%